

エンジニアパーク

# Engineer Ring Park

私は1974年(昭和49年)に札幌に生まれ、以来札幌に暮らしています。自然の多い郊外で育った私は、木の実やキノコを採ったり、変わった石(今思えば黄鉄鉱や石英脈か?)を拾ったりすることが好きな少年でした。大学では理学部に進み、かんらん岩の岩石学を専攻しました。その時役立ったものは、小さな頃から自然の中で培ってきた「探す目」でした。フィールドである日高山脈北部の深い山中で、研究対象の岩石サンプルを次々と探し出すことができました。その中の学術上重要なものは、標本として大学の総合博物館に所蔵・展示されるという光栄に恵まれました。

技術士を取得したのは2006年(平成18年)で、サラリーマンを辞めてフリーの地質屋になってから三年目でした。一回目の挑戦且つ誰のサポートも無い状況で、難易度がよく分からない不安から過剰なまでの準備をして臨み、書きすぎによる腱鞘炎を押して、運良く合格することができました。

技術士を取得してからもフリーの地質屋として仕事をしています。最近は北海道外の仕事の割合が増え、多いときには一年の約半分を内地で過ごします。仕事場所は津々浦々で、北海道とは異なる地形や地質、そして気候があり(もちろん食べ物も)、いつも新鮮な気持ちで仕事に臨んでいます。調査地がデコポン畑や富有柿畑だったり、山の中で猿の群れに囲まれたり、北海道では出来ない体験をしています。

北海道でも内地でも仕事は山の中が多く、自然の中で培った「探す目」が非常に役立ちます。小さな頃から好きだった自然の中での地質調査を生業にしていることは、私にとって幸運なことなのかも知れません。

**三浦 亮**(みうら りょう)

●応用理学部門(地質)

**勤務先**

三浦技術士事務所



→次号は、寺井 康文さん(応用理学部門)